

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和 5年 2月 16日

公表: 令和 5年 2月 22日

事業所名 ハッピースマイル

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1		法定面積基準は、10名の利用者様に対し24.7m ² となっているが、当事業所は指導訓練室が48.39m ² となっています。
	2	職員の配置数は適切である	7			基準人員に加え、利用者様の人数に合わせて出勤職員数を調整しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			室内には段差はなく、トイレ内に手すりを設置しております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			計画書の見直しに加え、業務内容に関して問題提起・話し合い・改善案の共有を行っています。実施後に再度見直しをし、業務の見直しを毎月1回ミーティングを設けて行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		・様々な意見をいただき、改善に努めている	保護者様への評価は毎年行っており、貴重な意見を把握・共有し、改善を図っております。ありがとうございます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			こちらの評価結果については、ホームページで公表しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7			適宜行っています。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		・月1回、午前中の時間を使って行っている。	毎月1回、テーマに沿った研修を行っています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			モニタリング、アセスメント、面談、事業所内ミーティングをし、計画書作成を行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			個別療育・集団療育にも生かしております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		・スタッフ全員で活動庵を出し合っている。	指導員の職員を中心にミーティングを開いて行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		・その子に合わせた難易度にて取り組んでいる。	固定化しないよう注意して設定しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			季節に沿った活動やその子に合わせて難易度調整を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		・声掛けし合いながら実施できている。 ・毎朝、支援開始前に打ち合わせを行っている。	毎朝、活動内容や支援方法などを朝礼にて情報共有しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			活動やイベントについて、職員でミーティングをし振り返り・改善点を話し合います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			支援の記録は利用の度に行い、HUGに掲載しております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			実施しております。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7			行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			所長が主に参加しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			保護者様から、学校プリントの写しをいただくなどして、把握ミスのないよう注意して管理しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	2	・現在いないが、疾患を持つ子に対する情報共有を行っている。	対象児がありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			保育園・幼稚園とも連携を努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		7		対象児がありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4		市内での関係機関開催の研修やミーティングに参加しております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5		公園遊びの際に、順番待ちなどで障がいのないお子さまとの交流があります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7			代表者が参加しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			日頃の様子や特記事項については、記録に記載したり、送迎時に直接お話をしています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	1	・広報誌も活用しながら行っている。	随時保護者様からの相談の際に、助言や指導を行っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			契約時にご説明しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1		1月に開催しました。今後は定期的に行っていきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			ご相談があった際には、迅速に対応させていただいております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		・定期的に広報誌をお渡ししている。	広報誌を3カ月に1回発行しています。
	35	個人情報に十分注意している	7			個人情報を含む書類の管理を徹底しております。また、写真の取り扱いには十分に注意しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			連絡事項をメールなどで保護者様皆様に一斉にメールをしています。報告漏れのないよう、注意しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7			地域の方を呼んでイベントを開催しました。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		マニュアルの確認を毎月1回行っている研修に取り入れております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		避難訓練を毎年2回実施し、避難の仕方、避難先の確認を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待研修も必ず行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		身体拘束に該当することは行っていないが、研修を実施し、啓発に努めております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		対象児はおりません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	・会議の際に周知し、事例をファイルにこじていつでも確認できるようにしている。	事例があった際にはその日のうちに書類作成し、職員内で周知しております。ミーティングも行っています。